

感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス） に注意しましょう！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、冬季に多いとされていますが、最近では、初夏にかけても集団事例として多くの発症が報告されています。またロタウイルスは例年3～5月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎が流行します。どちらも10～100個の少ないウイルス量でも発病するため、人から人への感染が起こります。また症状が消えてからも、10日から1か月は糞便中にウイルスが排出されています。

◆感染経路

ノロ：患者の糞便や嘔吐物からの二次感染、感染した人が調理などをして汚染された食品、ウイルスの蓄積した加熱不十分な二枚貝など

ロタ：ウイルスに汚染された食品や患者の便などに触れた手を介する接触感染が多い

◆潜伏期間・症状

ノロ潜伏期間・症状：1～2日。下痢・嘔吐・吐き気・腹痛などで、通常1～3日症状が続いた後、回復。

ロタ潜伏期間・症状：2～4日。水のような下痢・嘔吐を繰り返す。乳幼児で重症胃腸炎をおこしやすい。

★ロタウイルスワクチンは2020年10月より定期接種化されています

◆感染を予防・拡大防止するために

① 汚物はすぐに拭き取る・乾燥させない！

ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあるので、嘔吐物や糞便は速やかに処理することが感染防止に重要です。

② きれいに拭き取ってから消毒する！

ノロウイルスには家庭用塩素系漂白剤(主成分：次亜塩素酸ナトリウム)を水で薄めた消毒液が有効です。

★消毒液は、汚物が残っている状態で使用すると、ウイルスに対する消毒効果が低下するので消毒前にまずは汚物をきれいに取り除くことが重要です。有機物、温度、光に弱く開封後長期保存すると有効濃度が低下しますので、注意が必要です。

ノロウイルス・ロタウイルスにはコロナウイルスやO-157に効果のある消毒用アルコールが効きません！

コロナ流行により一時期次亜塩素酸ナトリウムが不足した中、次亜塩素酸水がたくさん流通しましたが、こちらでの消毒は推奨されません。前者と後者は全く別物ですのでご注意ください。

③ しっかり手洗いをする！

ノロウイルスやロタウイルスを広げないためには、しっかり手洗い（石鹸を使い30秒ぐらいもみ洗い、流水で流す）をして、手からウイルスを落とすことが大切です。

<タイミング> 嘔吐物等の処理後、拭き取り掃除後、調理の前、食事前、トイレの後、オムツ交換の後 等

